

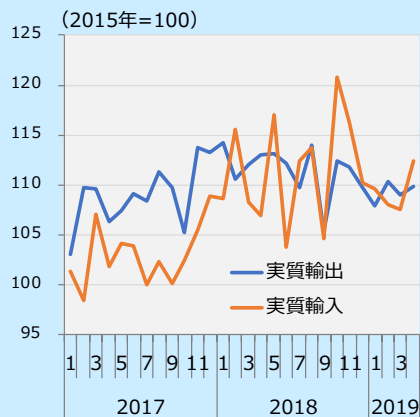
## 日本：貿易統計（2019年4月）

—実質輸出はアジア向けを中心に減少傾向が継続—

MRI Daily Economic Points

May 22, 2019

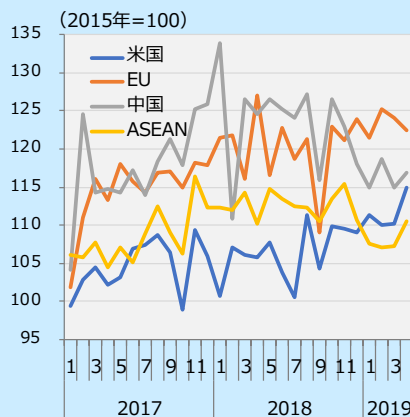
## 実質輸出入



注：当社による季節調整値。

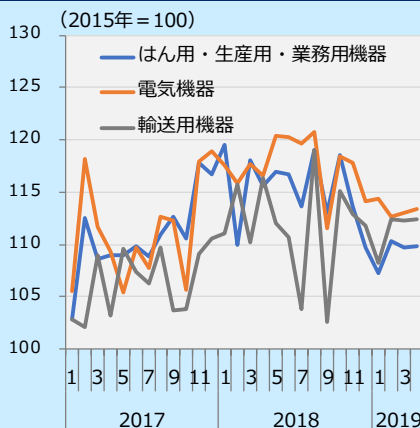
出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より三菱総合研究所作成

## 実質輸出：国別



注：当社による季節調整値。

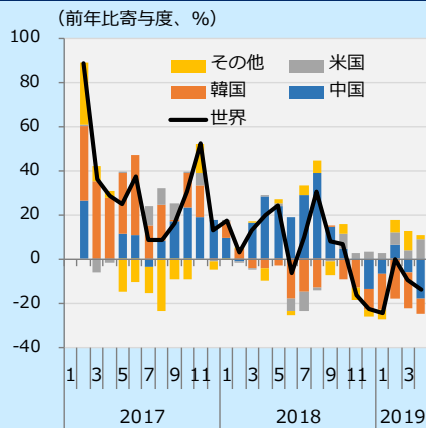
## 実質輸出：品目別



注：当社による季節調整値。

出所：財務省「貿易統計」、日本銀行「企業物価指数」より三菱総合研究所作成

## 半導体製造装置の実質輸出



## 評価ポイント

## 今回の結果

- 19年4月の貿易収支(季節調整値)は、▲1,109億円と、2ヶ月連続で赤字となった。名目輸出は前年比▲2.4%と、5ヶ月連続で減少した。名目輸入は同+6.4%と、2ヶ月連続で増加した。
- 実質輸出(当社による季節調整値)は、前月比+0.9%と2ヶ月ぶりの増加となった。実質輸入は、前月比+4.5%と6ヶ月ぶりに増加した。
- 4月の実質輸出(季節調整値)を国別で見ると、EU(前月比▲1.2%)は減少したが、米国(同+4.4%)、ASEAN(同+3.0%)、中国(同+1.8%)などで増加した。米国向けは、はん用・生産用・業務用機器や輸送用機器が高い伸びとなり、全体を押し上げた。中国向けは、景気減速を背景に減少傾向が続いていた、はん用・生産用・業務用機器や電気機器が横ばいで推移したことに加え、化学製品が高い伸びとなり、2ヶ月ぶりに増加した。
- 半導体製造装置の実質輸出は、前年比▲14.0%と6ヶ月連続で減少し、減少幅も拡大。米国向けは増加傾向にある一方、米中貿易摩擦や半導体関連需要調整の影響から、中国向けや韓国向けは減少している。

## 基調判断と今後の流れ

- 輸出は、海外経済の成長減速などを背景に、18年後半以降、緩やかな減少傾向にある。
- 先行きの輸出は、米中貿易摩擦の影響などを背景に中国経済の減速傾向が続くなか、半導体関連需要の調整継続や、減税効果のはく落などによる米国経済の減速などが加わり、19年後半にかけて緩やかな減少が予想される。
- さらなる下振れリスク要因として、①米中貿易摩擦の激化による米中経済の一段の減速や、②日米物品貿易協定(TAG)による対米輸出環境の悪化、が挙げられる。